研究業績

## 池田 昭光

### 【学会発表】

「信頼を不信から考える――マシュー・キャリー著『民族誌的理論としての不信』を手がかりに」科学研究費学術変革領域研究(A)「イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築」ワークショップ、オンライン開催(2021年7月31日)

## 塩谷 祐人

### 【論文】

「アンドレイ・マキーヌのアカデミー・フランセーズ講演を巡って―外国出身のフランス作家に関する考察」

明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュール』第16巻(2022年3月掲載予定)

### 【その他(翻訳)】

ミシェル・ビュトール『レペルトワールII』(石橋正孝監訳、幻戯書房、2021年12月)

担当箇所:「貧しき縁者」(p.203-209)

# 黒川 貞生

### 【論文】

Muscle stiffness of the rectus femoris and vastus lateralis in children with Osgood-Schlatter disease.

Shota Enomoto, Toshiaki Oda, Norihide Sugisaki, Misaki Toeda, <u>Sadao Kurokawa</u>, Masaru Kaga. The Knee 32, 140-147 (2021)

大学生における体型、体力の変化と運動習慣ならびに性別に関する縦断的研究

土屋 陽祐, <u>黒川 貞生</u>, 亀ヶ谷 純一, 森田 恭光, 榎本 翔太, 諏訪間 恵美, 中谷 深友紀, 杉崎 範英.

明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュール』第16巻(2022年3月掲載予定)

# 篠崎 美生子

#### 【論文】

「「帝国」の語りとしての「山月記」」(早稲田大学国文学会『国文学研究』第百九十四集 2021年6月)

「「林京子」をつくった「芥川」と「魯迅」―跋に代えて―」(「林京子と上海」研究会/中国表象研究会編『上海を舞台に―林京子/芥川龍之介―』2022年2月刊行予定)

#### 【書評】

「柴田優呼『プロデュースされた〈被爆者〉たち――表象空間におけるヒロシマ・ナガサキ』」 (明治学院大学国際平和研究所編『PRIME』45号 2022年3月刊行予定)

# 徐 正敏

#### 【著書】

『東京からの通信』(単著)、かんよう出版、2021年、全体352頁

『アジアキリスト教の歴史』(韓国語、共著)、図書出版デザンカン、2021年、51-59頁(全体239頁)

『メタバース時代の神学と牧会―延世神学文庫011』(韓国語、共著)、トンヨン出版社、2021年、50-57頁(全体214頁)

### 【論文】

「書評、日韓キリスト教関係史資料3、1945-2010」(韓国語)、『基督教思想』第747号、219-223頁 2021年3月

「書評、日韓キリスト教関係史資料3」『本のひろば』第759号、20-21頁 2021年3月

「書評、『東洋文化』(東京大学東洋文化研究所)101号、社会参与画家の富山妙子特集」(韓国語)、 『基督教思想』第753号、201-206頁 2021年9月

語

「日本キリスト教の受容史に対する断想―「キリスト教主義」の形成と「国学」」(韓国語)、 『柳東植教授上寿記念文集風流神学百年』(ドンヨン出版社、2021年)、121-135頁

### 【学会発表】

「日本の国学とキリスト教主義」(韓国語)アジアキリスト教史学会(アジアキリスト教史学会創立 10周年記念学術大会、韓国、安養大学)2021年11月13日(オンラインZoomで発表)

## 徳間 晴美

### 【論文】

「待遇コミュニケーションの観点を意識したビジネス日本語科目に関する考察―場面認識と自己内省を中心に―」『日本語教育研究』第55輯, 21-34 韓国日語教育学会 2021年5月

### 【学会発表】

運営委員会企画「待遇コミュニケーションにおける理論的枠組みを考える」 待遇コミュニケーション学会2021年秋季大会(オンライン開催)(2021年10月23日) 共同発表者:アドゥアヨム・アヘゴ希佳子、李ジウォン、任ジェヒ、蒲谷宏

## 野副 朋子

#### 【調査・研究報告】

野副 朋子、安部 淳「植物バイオテクノロジーに関する実験実習」 明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュール』第16巻(2022年3月掲載予定)

# 福山 勝也

#### 【論文】

「カルボジイミド基を有するポリマーから調製したガラス状炭素に対する熱処理とHIP処理の効果」 明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュール』第16巻(2022年3月掲載予定)

# 山内 薫

#### 【著書】

『「ことば」の学びに寄り添う日本語教育―「学習と人生のつながりの軸」の形成と意識化をめざして―』くろしお出版、2022年2月刊行予定

### 【論文】

「大学時代及び大学という学習環境で日本語を学ぶ意義―フランスの大学における継承日本語学習者を事例に―」『第6回スペイン日本語教師会シンポジウム発表論文集「未来を創る複言語・複文化教育」』、pp.55-60、2021年12月

「「ことば」の学びを探求する視点としての移動性―グローバル時代における生涯学習としての外国語教育を実現するための―提言―」『日本語・日本語教育』第4号、pp.111-129、2021年3月

### 【学会発表】

「生活から人生へと視野の広がりを目的とする言語教育実践―学部生1年次対象の「口頭表現トレーニング」科目を事例として―」日本生涯教育学会第42回大会研究発表、オンライン. (2021年11月28日)

「大学時代及び大学という学習環境で日本語を学ぶ意義―フランスの大学における継承日本語学習者を事例に―」スペイン日本語教師会第6回シンポジウム「未来を創る複言語・複文化教育」、オンライン. (2021年6月20日)

## Dax Thomas

#### 【学会発表】

Japanese university students' attitudes towards extensive reading in the digital age. Extensive Reading Around the World 2021. Elam, J., Thomas, D., Grimes-MacLellan, D., & Galichet-Honda, V. (Online). August 13, 2021.

研究プロジェクト

# **ELAM Jesse**

### 【学会発表】

Japanese university students' attitudes towards extensive reading in the digital age. Extensive Reading Around the World 2021. Elam, J., Thomas, D., Grimes-MacLellan, D., & Galichet-Honda, V. (Online). August 13, 2021.

### Grimes-MacLellan, Dawn

### 【学会発表】

Japanese university students' attitudes towards extensive reading in the digital age. Extensive Reading Around the World 2021. Elam, J., Thomas, D., Grimes-MacLellan, D., & Galichet-Honda, V. (Online). August 13, 2021.

Cultivating an Immersive Environment in the Classroom: Teaching Japanese Society through Koreeda Films. Japan Studies Association (Honolulu, HI, USA – Virtual). January 7, 2022.

◆上記のほか、所員の業績を、下記URLにて報告しております。 https://gyoseki.meijigakuin.ac.jp/mguhp/KgApp?courc=270000

